

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2025年2月号(第189号)

発行責任者 松尾 基昭



所沢市滝の城址公園にて撮影 梅津博紀

第18期 新入会員 歓迎行事

ところざわ倶楽部寄席 開催のお知らせ！

日時 3月27日(金) 開場 13時 開演 13時半～ 中央公民館ホール

入場料 会員 500円 一般 1000円 第18期新入会員 無料

ところざわ倶楽部寄席 開催に寄せて

所沢演芸会 高円寺亭オスカル(特別会員)

日頃は、私共の活動にご理解を頂き、誠に有難うございます。お陰様で地元での公演を通じて、地域の振興と活性化に微力ながらもお役に立てている事、嬉しく感じております。

さて、今回の「ところざわ倶楽部寄席」の紹介をさせて頂きたいと思います。

まずは咲和未亭花壇さん。第9回尼崎落研選手権大賞受賞者。二十二歳の若手が開口一番を努めます。お次は前回に続いて登場の事例亭文太さん。昨年12月に行われた美原町寄席ではトリをつとめ40分に及ぶ大ネタ、文七元結で大好評を得ました。三番目は三遊亭小遊さん。第五回ちりとてちん杯グランプリを始め数々の賞を受賞、創作落語の達人です。

お次が色物登場。色物というのは寄席演芸において、落語・講談以外の芸を指します。今回は東大ハロプロ研究会25のダンス。東大生達の舞い・踊る姿をとくにご覧ください。

中入り休憩を挟みまして講談、私、高円寺亭オスカルの登場です。すごいメンバーの中で負けないように頑張りたいと思います。その後が、猿楽亭あんみつさんの登場。第十四回社会人落語日本一決定戦ファイナリスト。関東社会人落語界の重鎮、ついに所沢にやってきます。そして大トリをつとめますのが、ロック座ポール。関東落研連盟二十代目総長にして西武線沿線寄席代表です。みなさん、是非最後までお楽しみください。



野老澤の歴史をたのしむ会・活動報告

新年調理講習会

野老澤の歴史をたのしむ会 梅津 博紀

1月9日（木）に所沢中央公民館料理講習室で恒例の新年調理講習会が16名の会員の参加のもと開催された。ベターホーム協会の料理教室で活躍された当サークルメンバーの鷺見さんに講師をお願いした。一昨年は「手打ちうどん」、昨年は「ゆでまんじゅう」と「すいとん」と地域の素材をメインとしたメニューであったが、今年も所沢のブランド品（特産品）であるさといもを使った「芋煮」と、さつまいも（川越いもの始作地は所沢柳瀬地区の南永井）を使った「さつまいもと豚肉の煮物」、そして粉（小麦粉）を使った「お焼き」、「ほうれん草のおひたし」の4品である。

はじめに講師用調理台の前に集まり、各料理の調理のこつ・ポイントについて軽妙で的確で分かり易い説明があった。例えばさといもの皮のむき方とぬめりのとり方、こんにゃくの処理、ごぼうのささがき、さつまいもの切り方・・・など。またしょうゆ・塩・砂糖などの調味料はレシピより少なめに入れ、最後に味を見て調整する。お焼きは生地の手入れが難しいが、こつは直径10cm位に伸ばした生地を左手で包んで具を押し込めるようにしながら口はしっかり閉じる・・・等々。



4つのグループに分かれ、調理を開始した。各グループともレシピに従い、手際よく作業を分担し、スムーズに調理が進み、予定通り時間内に調理が完成した。

さていよいよ試食タイム、各グループ毎の笑顔あふれる昼食となった。

「芋煮」といえば山形の芋煮が有名であるが、様々な素材の味がミックスされていて、山形牛を使わなくとも十分に美味しさを感じられた。

「さつまいもと豚肉の煮物」はさつまいもの甘さと豚肉のこくがマッチして美味、このような組み合わせがあるのかと思うほどの味であった。

「ほうれん草のおひたし」はしょうゆ洗い（えぐみが除ける）をして、なめたけで和えることにより目からうろこの味である。

「お焼き」は鷺見さんが用意した三種の具材、なすとごぼうとくるみの味噌炒め、高菜漬け炒め、

粒あんであったが、どれも素朴な味でなぜか懐かしく感じられた。

最後に鷺見さんに準備していただいたイモ羊羹、淡雪羹、いもかりんとうのデザートをいただきフィニッシュとなった。皆さん鷺見さんに感謝して、満足の散会となった。

なお、今回の料理のレシピはところざわ倶楽部のHPの2025年サークル活動報告に記載されています。

～あの日あの時 IN LONDON～

アジア研究会・楽悠クラブ 松尾 基昭

人は、何故か心に残る思い出を持っています。それが特定の情景や歌と結びつくと、その思い出は、更に深く永遠に心に生き続ける思い出になるのでしょうか。今から40数年程遡る1980年代のロンドンで過ごした駐在員生活も特別な思い出の一つです。



当時イギリスは、後にサッチャーイズムとして知られるサッチャー首相が、経済的に困難な状況を克服すべく民営化・規制緩和を中心とする新自由主義を謳い積極的な経済政策を推進していました。その反面、政策に反対する労働組合運動も激化し、ストライキも頻発していました。1982年の2月には、国鉄のストライキに巻き込まれ、毎日の通勤が困難になりました。電力会社のストもあり蝋燭で何日か生活したこともありました。よくも国民が文句を言わないものだと感心し、同時にイギリス人の寛容さと忍耐力に感服したことが思い出起こされます。

同年3月には、フォークランド紛争が勃発しました。当時日中、歩いていてロンドン市内の上空を飛ぶ蝙蝠の形をしたステルス機を目の当たりにして、人生で初めて戦争を肌で感じた瞬間もありました。

又、12月の珍しく雪の降った夜、その日は朝から雪模様で夕方には20センチ位の積雪になりました。あるバス停に、名物の赤い二階建てのバスを待っている列が出来ていました。いつ来るかもしれないバスを20人位の人が静かにじっと並んで待っていると、バスが到着しました。しかし、満員で人が乗れません。すると一人の若い黒人が列をみだし後ろから、ひょいと後ろのデッキに飛び乗りました。

この時です、並んでいた老婦人が突然何も言わず黒人をバスから引きずり降ろしたのです。私は、あっけにとられながらも、イギリス社会の掟の奥深さを垣間見る思いで見構えた記憶は今も深く心に残っています。一番時間を費やしたオフィスでの仕事に関する思い出は、只々忙しい中で一遍の記憶しか思い出せませんが、当時出張したフランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、東西ドイツ、アルジェリア、トルコ、北欧4か国等での貴重な経験は今も人生の宝物です。特に、東西ベルリンの壁の崩壊前の東ベルリンを訪れた際の印象は深く、歴史を考えさせられるものがありました。

仕事を離れての記憶も良く思い出起こされます。日照時間が少なく、厳しい寒さの冬のロンドンでは、業後の娯楽と言えば、所詮、日本の延長で麻雀、囲碁、卓球、時にカジノといった遊びが中心でした。オペラ鑑賞とか美術館巡りとか高尚な趣味があれば良いのですが・・・こうした中で、いまでも特別に心に残るある思い出があります。CITYの東のはずれに「権兵衛」と言う居酒屋があり、ここで良く仲間と麻雀をして楽しんでいた時の話です。その店主が、この頃日本でヒットしていた森進一の「冬のリビエラ」と言う歌謡曲をよくBGMで流していました。ある雪の夜、この曲を聞いて帰ろうとした時、人通りもなく静かに降り続く雪景色を見て、思わず感傷的になったことがありました。異国で聞いた日本の歌と、この情景が、今も鮮明に思い出起こされます。今でも、カラオケでこの曲を歌うときは、当時仲間だった亡き友人の思いも重なり、哀愁の想いで、当時の情景を思い出しています。其の後も、他の海外駐在を経験してきましたが、何故かロンドン時代の思い出が、今も、特別なものとして、深く心に刻まれています。



武蔵野台地と落葉掃き

所沢の自然と農業 鈴木 安弘

東京の中心街まで電車で30分という都市近郊にある武蔵野台地（所沢市他）は、防風林に囲われた屋敷と櫛並木道の裏手に、コナラやクヌギ林を端に置いた短冊状の圃場が広々と並んでいる。

通称芋街道（三芳町）と呼ばれる道路から車を降り、脇道に一步足を踏み入れ防風林が途切れる先まで歩いていけば、忽然と現れるその景観にきっと誰もが驚かされるだろう。視界を遮るものがない青空の下、丁寧に耕された赤黒い土が長い帯のように連なって、富士の裾野までも続くかの光景が眼前に現れるのだ。また、その畑の畦道を風に吹かれながら歩くことが許されるなら、古く江戸時代に開拓され、変ることなく継承されてきた営みに想いをはせることもできるだろう。

こうした風景は、武蔵野の風土に根差した「落ち葉堆肥農法」が創り育てた文化であると同時に、人と自然が共生する美しい風景を今に残す宝となっている。



（参加した「すずかめ」の子どもたち）

（雑木林更新の為の幼木）

（伊東農園：サツマイモ畑）

クヌギ林に隣接した柳瀬まちづくりセンターは、武蔵野の面影を今に残した自然豊かな場所にあります。

今年も1月18日（土）に恒例となった落ち葉掃きイベントに参加すべく、老若男女約150名が応援に集結しました。

私達「すずかめ子ども食堂」も「落ち葉堆肥農法」からの野菜提供を受けていることや、地産地消・SDGsなど地域に根差した食育推進を図るべく毎年参加しております。また、落ち葉掃きは若い力も必要になりますから「すずかめ無料塾」講師（防衛医大の看護学生、他、大学生）6名を含め、総勢30名で参加しました。

当日は、時々日も射す好天であったものの、お湿りのない日が続く北風の吹く冷たい日でした。

朝8時半からセンターにて受付が始まります。その後、クヌギ林（ヤマ）へ移動し9時からの開会式を待ちます。

しかし、段取りが悪いのか中々始まろうとしません。ヤマは更に北風が冷たく、子供も大学生も「寒い、寒い」を連呼しておりました。

ようやく開会式が執り行われたのですが、かじかむような寒さの中、次から次と長々と挨拶弁論が続く様には、

次第に怒りにも似た不満がこみ上げてきます。おそらくここに参加した多くの人の思いでもあったでしょう。

インフルエンザが猛威を奮う最中のイベントです。子供達だけでなく、保護者、学生の他からも多大な不評の感想をいただきました。

落葉掃きには多くの善意の人手が要ります。そうした人手を集めるために配られた広報誌には、既に挨拶に挙げたような事柄は記載されているのですから、それを再び眉間にシワを寄せて世界農業遺産の詳細を説明されても、寒さに震える子供や学生達に響くことはないでしょう。むしろ寒く辛い印象を残すことで、参加意欲を削ぐことになるのではないかと危惧します。

落葉掃きは体力のいる作業です。子ども達をダシに若い保護者を集め、楽しみながら参加できる仕掛けが必要です。宝探しや落葉掃き競争など罰ゲームも加えて、ワイワイ楽しめる仕組みを提案できないのでしょうか。

せめて温かい甘酒などの提供があれば、尚良いかと思いますがいかがでしょう。

毎年似たような苦情が囁かれる中で、一向に改善されようとならないのはどういうことかと、筆を執りました。

笠松先生の 『ウクライナ帰国報告会』に参加して

ドラマティック・カンパニー 吉田 紘之

1980年代の半ば頃、仕事でイラクのバグダッドに1週間位滞在したことがある。1980年に始まったイラン・イラク戦争が真っ最中の頃である。

隣接する国が互いにミサイルで攻撃し合った最初の戦争となった。バグダッドの街中はミサイルよけなのか気球が数多く上がり、物々しい雰囲気である。ホテルで夜寝しているとたまに頭上をミサイルが飛んでいく音が聞こえる。

現地の人に話を聞くとイランが狙っているのは情報省とサダム・フセイン大統領の宮殿で、いずれも郊外にあり「一般人の被害が出るような街中は決して攻撃しない」と気にしていない。それでも頭上をミサイルが飛んでいく音を聞くのは気分の良いものではない。

ドラマティック・カンパニーでお世話になっている笠松先生が作曲されたオペラ「人魚姫」上演のプレミアに招待されて、ウクライナを訪問されると聞いた時にまず頭に浮かんだのはバグダッドでの体験のことであった。

ロシアの攻撃はルールを無視してどこにでもミサイルを撃ち込むので怖いと思った。しかしオペラが上演されるのはウクライナの西側、ポーランドとの国境近くのリヴィウという街だということを知って少し安心した。それでも先生の到着される何日か前に、リヴィウの鉄道駅を標的としたミサイルが飛来し、駅を外れて街中に落下して一般人の被害が出たという。

リヴィウの街は戦時下にも関わらず、平静を保っておりオペラハウスの周辺には観光客も大勢散策しているような日常だったようだ。掲載させていただいた先生がお撮りになったオペラハウスの写真にも散策する観光客の姿が映っている。正面の3枚の垂れ幕の真ん中に「人魚姫」が入っているし、宣伝のポスターにもオペラハウスの上演予定に入っているモーツァルトとプッチーニのオペラに挟まれて載っていたようである。

ポーランドのワルシャワに到着。出迎えたオペラハウスの関係者と車で6時間位掛けてリヴィウに到着されたとのこと。



リヴィウ オペラハウス

11月3日に上演された「人魚姫」のプレミアは聴衆にとっても熱い迎えられ方をしたそうである。一昨年の11月にウクライナ支援のための「人魚姫」の上演がウクライナ人のオペラ歌手を迎えて国際基督教大学(ICU)で行われたが、主演のナタリアさん、ラディコさんと共に笠松先生が上演を終えて舞台に立つと大喝采が起こった。その時に勝るとも劣らぬ大喝采が起こったものと確信し

ている。終演後は劇場関係者、評論家、作曲家などからいろいろな言葉を貰われたようで、「オペラが帰ってきた」と言った方もいたようである。現代オペラに満足していない方の発言であろうし、やはり心を打つドラマのあるオペラが期待されているのではないだろうか。

東日本大震災後3・11が起こって来日を中止する海外アーティストが多かった中、直後の4月に予定通り来日してコンサート・ツアーを行ったシンガーソングライターのカイリー・ミノグの公演後、日本のファンからは「日常生活を少しだけ逃避できた」「あのコンサートで、全てが今まで通りだと感じられる瞬間があった」と言う声が寄せられ「そんな公演が出来て私もすごく嬉しかった」と言うコメントを残している。

震災と戦争は違うかもしれないが、ある意味でウクライナでは3・11が3年も続いていると言ってもいい。

そんなリヴィウの人たちは「人魚姫」を観てどれだけ力を貰ったことであろう。「人魚姫」がオペラハウスのレパートリーに入り、笠松先生は「君はウクライナの歴史の一部になった」と言われたそうである。日本人として誇らしいことである。リヴィウでの「人魚姫」の成功をきっかけにして、ウクライナだけではなくヨーロッパでの「人魚姫」の演奏機会は増えてくるのではないだろうか。そしてそれが日本に伝わって日本での再演ということになるのではないかと信じている。

笠松先生、お疲れ様でした。そして共作の提案もあるとか、これからの展開が楽しみです。

サークル活動報告

私たちのサークルの課題



地球環境に学ぶサークル 芝間 伸剛



私たち「地球環境に学ぶ」サークルでは、①地球規模で発生している環境問題、②日本国や所沢市での環境問題や活動、③私たちの身近な環境問題など多岐にわたる今話題の環境問題について意見交換・討議を行い、知識を深めています。

- ① COP28・29（気候変動枠組条約締約国会議）の内容、温暖化による様々な環境影響・海洋環境の変化、トランプ政権による環境問題への影響等
- ② 日米地位協定と所沢の通信基地問題、ゼロカーボンシティ所沢市の脱炭素への取組みの現状と今後ロードマップ（行程表）、所沢市市民ソーラーの

現状、第7次エネルギー基本計画の内容、木材活用によるビル建設等

- ③ 生ごみ処理とごみの減量化、家庭から排出されるCO2の排出量とその算出方法、二重サッシ化による断熱性能の向上、木材活用によるビル建設、紙オムツのリサイクル等

その他、5月には、第五福龍丸展示館を見学し、「死の灰」の恐ろしさを再認識しました。また、中米「コスタリカ」に詳しい講師をお招きして、非武装・平和主義を貫いているコスタリカについての講演会も開催しました。

少しでも環境問題に興味をお持ちの方は、参加してみませんか。

連絡窓口：芝間 MAIL：shibaman.0510@dokomonet.jp

みんなの広場

脳科学に魅せられて



脳活サークル 鶴野沢 実豊

2016年に市民大学に入り、阿部先生の脳科学講座を知りました。翌年の選択科目は迷うことなく脳科学に進み、その後、脳活サークルに入会して現在に至ります。ここでは、リーダーのアイデアや、皆で練った企画を次年度に定例会で実施しています。例えば、外部講師による講演会や文学関係や古典芸能を学び楽しむ会や、アウトドアでのスポーツなど、多種多様な企画を皆で体験し楽しみを共有化しています。どれもシニア層の脳の活性化に相応しいものばかりなので、当会員以外の方の参加希望があれば歓迎します。また、最近の事です阿部先生ご自身でYouTubeに「脳科学入門シリーズ」を開設(無料)されました。これを視聴するのも毎回楽しみですね。それでは、皆さんの気になる「老化」について、最新の予防法の一部を紹介します。

- ①呼吸：たっぷりの酸素で細胞を活性化＜深い呼吸と腹式呼吸＞
 - ②睡眠：成長ホルモンを促して体を修復＜朝日を浴び、真っ暗睡眠＞
 - ③運動：炎症、糖化、酸化をまとめ＜サーキットトレーニング＞
 - ④食事：ホルモンバランスを正常化へ＜発酵食品、ネバネバ食品で予防＞
 - ⑤ストレス対処：自律神経をパワーアップ＜笑顔、マインドフルネス＞
- ※「間違いだらけの老化の常識」(プレジデントMOOK 2024/12)より



24年秋パークゴルフ

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

<p>1. アジア研究会 (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>2月19日(水)13:30~16:00 中央公民館 8・9号室 テーマ:「トランプ2.0後のその後」～米中日韓露の関係～ 「選択的夫婦別姓問題について」</p> <p>3月19日(水)13:30~16:00 ミューズ 和室2号 テーマ:「百人一首 競技かるたの世界」</p>	<p>8. ドラマティック・カンパニー (吉田 紘之 080-3480-7760)</p> <p>2月15日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p> <p>3月1日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p> <p>3月15日(土)10:00~12:00 中央公民館学習室3号 「リチャード3世」朗読続き</p>
<p>2. 楽悠クラブ (田村 健一郎 2949-3434)</p> <p>2月3日(月)13:15~16:30 中央公民館3階8・9号学習室 鑑賞演目 ヴェルディ歌劇「アイダ」2時間15分 バレンボイム指揮、ミラノ・スカラ座、NHK</p> <p>3月4日(火)13:15~16:30 中央公民館□□学習室 鑑賞演目 映画「クララ・シューマン愛の協奏曲」1時間49分 才色兼備の音楽家クララの生涯を描いた伝記映画</p>	<p>9. 懐かしの映画・鑑賞会 (二上 拓夫 080-1250-6151)</p> <p>2月11日(火)10:00~12:30 西新井町会館 洋画「ジャイアンツ」(56年)テラー、ロックハドソン</p> <p>2月18日(火)10:00~12:30 西新井町会館 洋画「硫黄島からの手紙」(06年) 渡辺謙・二宮和也 イーストウッド監督 日本側から見た戦いストーリー ⇒今年初めから 上映会日 2集・3週の火曜日となります。</p>
<p>3. 食を通して所沢を知る会 (矢崎 みどり 2943-4250)</p> <p>2月25日(火) 三井記念館の雛人形と厚岸食堂の牡蠣</p> <p>3月25日(火)10:00 ~ エミテラス・フードコート 日本の米の将来性</p>	<p>10. 脳活サークル (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>2月17日(月)13:30~16:30 中央公民館 学習室5号 講座 「あなたは認知症を理解していますか?」とディスコン体験</p> <p>3月24日(月)13:00~16:30 中央公民館 学習室5号 総会& 次年度の活動検討</p>
<p>4. 地球環境に学ぶ (芝間 伸剛 080-5453-0117)</p> <p>気候変動等世の中の種々の環境問題をはじめ、私たちの身の回りの生活環境について、情報を持ち寄り討議します。 時には、見学会も実施します。いつでも自由に参加できます。</p> <p>2月25日(火)9:00~11:30 新所沢東公民館 月例会 2月度の読書会の日程は未定</p>	<p>11. 傍聴席 (石堂 智士 2947-0835)</p> <p>2月17日(月)14:00~16:00時 新所沢東公民館 研修室1号 テーマ:「自由討議 決算報告、今期計画の提案ほか」</p> <p>3月17日(月) 予定</p> <p>※市政に関心のある方は自由にご参加ください。</p>
<p>5. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 (田口 元也 090-9820-5668)</p> <p>2月12日(水)13:00~15:00 中央公民館 1階 学習室3号 出前講座 所沢市の地方創生 講師 経営企画課職員 一所沢市 まち、ひと、しごと 創生総合戦略についてー 〈SP・スマイルパイレーツ練習日〉見学大歓迎!</p> <p>2月8日(土)13:30~16:00 中央公民館 3階 学習室8・9号 2月22日(土)13:30~16:00 生涯学習推進センター102号室</p>	<p>12. 民話の会 (仲山 富夫 090-3902-0283)</p> <p>2月14日(木)10:00~12:00「新郷団地サロン」にて、ボランティア活動の「お話会」 演目:「あっちいちいの新光寺・びんぼうがみとふくのかみ・懐かしの歌・春夏秋冬の所沢の花の写真」で新構成</p> <p>2月中「グループホームあおぞら南永井」にて「お話会」予定</p> <p>2月21日(金) こどもと福祉の未来館 定例会 新作所沢の民話の「たたき台」の内容検討開始</p>
<p>6. 所沢の自然と農業 (稲村 洋二 090-5530-4703)</p> <p>2月13日(木)13:00~15:00 新所沢公民館学習室1号 定例会 2月18日(火)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア 2月28日(金)9:30~11:30 柳瀬荘黄林閣ボランティア</p>	<p>13. ITサロン (ところざわ倶楽部) (玉上 佳彦 090-2497-1076)</p> <p>2月4日(火)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号 2月21日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p> <p>3月12日(水)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号 3月28日(金)13:00~16:00 新所沢公民館 学習室5号</p>
<p>7. 野老澤の歴史をたのしむ会 (茂出木 正和 2924-7533)</p> <p>2月20日(木) 所沢南部地区歴史探訪 9:20 所沢駅東口 マクドナルド前集合 12:40 解散 秋津神社</p> <p>3月6日(木) 木村立彦氏歴史講座 1:30 場所未定 内容「関八州廻りと所沢組合村」</p>	<p>14. 謡曲・仕舞を楽しむ会 (野口 喜美夫 090-8054-3317)</p> <p>観世流 謡曲と仕舞の稽古・練習を行います。</p> <p>2月4日(火)9:00~11:30 中央公民館 学習室6号 2月18日(火)9:00~11:30 緑寿荘 和室 2月23日(日)12:50~13:30 中央公民館 ホール リハーサル 2月25日(火)9:00~11:30 緑寿荘 和室 3月2日(日)16:00~16:20 中央公民館まつり 出演</p>

川柳 (102) 号 作品発表 選 岡本詔笛

課題「故郷」

兄がいて思い出語る母の味
せつせとまだ通っている故郷に
故郷に帰りたくなる上野駅
出身を聞かれて言わぬ 田舎者
三八の豪雪背の丈家さしむ
遠く聞く入替え列車つなぐ音
故郷は頭の中に住んで居る

リンゴ好き
海さとり
突拍子
縄文人
香歩
峯声
詔笛

「自由題」

急に兄弟姉妹仲良しに
寒い日は駅伝見ての炬燵暖
大病を自慢している同期会
観光地 外人ばかりで 興醒めす
揃ったね写真に残すお正月
寒い朝ほっこり陽射しにまたうつら
良く治り見るも哀れに怪我の後

海さとり
峯声
突拍子
縄文人
リンゴ好き
香歩
詔笛

次回(第103回) 課題「時代」そして「自由題」
締め切り…2月20日 担当…岡本まで、どなたでも

宛先 okamotosh@gmail.com

理事会報告

総務部長 中原幹男

1月20日(月)18期第2回理事会を開催しました。

- ・12月23日に事業部会議を行って組み上げた今年度の行事/イベント基本計画(案)内容を検討し、各理事や協力会員の役割を決めました。
- ・4大行事1番目として3/21にところざわ倶楽部寄席を開催することになりました。
- ・「広場3月号」新会員の紹介ページを設ける予定。
- ・総会を欠席された方へ郵送代節約のためサークルを通じて資料をお渡ししていますが、年を越した分は順次郵送しています。お手元へ届くのが遅くなることをご了承ください。
- ・引き続き新年度会費のサークルでの集金にご協力ください。

懐かしの映画鑑賞会

2月11日(火)10:00~12:30

アメリカ映画『ジャイアンツ』

野球の話ではありません。アメリカ東部から西部に移住し石油を掘り当て大金持ちになる話です。多くの人のご参加をお待ちしています。 連絡先: 二上拓夫 080-1250-6151

〇会場「西新井町会館」一概略図 住所: 所沢市西新井町17-33(熊野神社境内)



編集者から



昨年3月号のこの欄で、直近1年間の“広場”投稿者の男女比を調べ男性71名対女性33名でほぼ7:3の割合と報告しました。それから1年、どう変化したか調べたところ、男性68名対女性27名で昨年と変わらず7:3の結果が出ました。現在倶楽部会員の男女比は52%対48%で、昨年の55%:45%よりも女性の比率が増え男女比がほぼ拮抗しています。数字だけで見ると女性の投稿者がもう20人増えることが必要です。広場編集委員は、男性8:女性6ですが、紙面制作担当は2:3で女性のセンスが生かされ、写真やイラストが増え読みやすくなっているとの評価を得ています。女性の投稿をもっと増やすには、サークルでの呼びかけが頼りですのでご協力よろしくお願ひします。また、妙案がございましたらご提案をお願いします。

中原幹男:記